

# インテル® C++ コンパイラー・クラシック 2021.1 リリースノート

---

2020年10月20日

このドキュメントでは、新機能、変更された機能、注意事項、および製品ドキュメントに記述されていない既知の問題について説明します。

このリリースノートでは、インテル® C++ コンパイラー・クラシックのみ取り上げます。

## インテル® C++ コンパイラー・クラシック 2021.1 の主な機能

- `/Qstd=c++20` (Windows\*) または `-std=c++20` (Linux\*/macOS\*) オプションで新しい C++20 の機能をサポート
- OpenMP\* 5.0 の新機能
  - SIMD ディレクティブの IF 節
  - SIMD ディレクティブの NONTEMPORAL 節
- 報告された問題を修正

## インテル® C++ コンパイラー・クラシックのアンインストール方法

インストール手順は、ドキュメントの一部として、インテル® ソフトウェア開発製品に同梱されています。最新のインテル® oneAPI HPC ツールキットのインストール・ガイドは、オンラインでも利用できます。[インストール・ガイド \(英語\)](#) を参照してください。

## インテル® C++ コンパイラー・クラシックの使用方法

インテル® C++ コンパイラー・クラシックの使用方法は、以下を参照してください。

- [インテル® oneAPI ツールキット入門 \(Linux\\* 版\) \(英語\)](#)
- [インテル® oneAPI ツールキット入門 \(Windows\\* 版\) \(英語\)](#)
- [インテル® oneAPI ツールキット・インストール・ガイド \(macOS\\* 版\) \(英語\)](#)

# 未サポートまたは終了予定の機能

## ループ・プロファイラー機能は将来のコンパイラーで削除される予定

ループ・プロファイラーに関連する次のコンパイラー・オプションは将来のコンパイラーで削除される予定です。

- `profile-loops=keyword`
- `profile-loops-report=value`
- `profile-functions`
- `guide-profile`

## インテル® Cilk™ Plus のサポートを終了

### ICC -qnextgen コンパイラー・オプションを削除

`-qnextgen` (Linux\*)、`/qnextgen` (Windows\*) コンパイラー・オプションは削除されました。  
`icc -qnextgen` または `icc /qnextgen` の代わりに `icx` を使用してください。

インテル® C++ コンパイラー (`icx`) は、インテル® oneAPI ベース・ツールキットのインテル® oneAPI DPC++/C++ コンパイラーとして利用できます。

OpenMP\* オフロードは、インテル® oneAPI HPC ツールキットのインテル® oneAPI DPC++/C++ コンパイラーとして利用できます。

インテル® C++ コンパイラー (`icx`) および OpenMP\* オフロードの新機能については、「[インテル® oneAPI DPC++/C++ コンパイラー・リリースノート](#)」を参照してください。

## 既知の問題

### `--version` コンパイラー・オプションを使用すると正しくないバージョン文字列が表示される

Linux\* および macOS\* で `--version` コンパイラー・オプションを使用すると、正しくないバージョン文字列 `icc (ICC) 2021.1 Beta 20201112` が表示されます。このコンパイラーはベータ版ではないため、「Beta」は正しくありません。`-v` コンパイラー・オプションを使用すると、正しいバージョン文字列 `Intel (r) C++ Intel (r) 64 Compiler Classic for applications running on Intel (r) 64, Version 2021.1 Build 20201112_000000` が表示されます。`--version` コンパイラー・オプションで表示される文字列は将来のアップデートで修正される予定です。この `icc` コンパイラー・オプションは Windows\* では利用できません。

### macOS\* Big Sur 11.0.1 でのエラー

ライブラリー (`-lSystem` など) が見つからないエラーが発生します。

**詳細** (英語): macOS\* Big Sur 11.0.1 では、システムで提供するすべてのライブラリーの動的リンカーキャッシュがシステムに組み込まれるようになりました。この変更の一環として、ダイナミック・ライブラリーのコピーが

ファイルシステムに存在しないようになりました。そのため、パスでファイルを検索したり、ディレクトリーを列挙して、ダイナミック・ライブラリーの存在をチェックするコードはエラーになります。

## Xcode\* 10 および 11 での「no rule to process file」エラー

macOS\* の Xcode\* 10 および 11 には新しいビルドシステムが含まれていて、デフォルトとして構成されています。現在、インテル® コンパイラーはこの新しいビルドシステムをサポートしていません。Xcode\* でインテル® C++ コンパイラー・プロジェクトをビルドすると、「no rule to process file (ファイル进行处理するルールがありません)」というエラーが表示されます。Xcode\* でプロジェクトをビルドするには、[Project Settings (プロジェクト設定)] で [Legacy Build System (レガシー・ビルド・システム)] に切り替えてください。

詳細は、[こちらの記事](#) (英語) を参照してください。

## 法務上の注意書き

インテルのテクノロジーを使用するには、対応したハードウェア、ソフトウェア、またはサービスの有効化が必要となる場合があります。

絶対的なセキュリティを提供できる製品またはコンポーネントはありません。

実際の費用と結果は異なる場合があります。

© Intel Corporation. Intel、インテル、Intel ロゴ、Cilk は、アメリカ合衆国および / またはその他の国における Intel Corporation またはその子会社の商標です。

\* その他の社名、製品名などは、一般に各社の表示、商標または登録商標です。

本資料は、(明示されているか否かにかかわらず、また禁反言によるとよらずにかかわらず) いかなる知的財産権のライセンスも許諾するものではありません。

本資料で説明されている製品には、エラッタと呼ばれる設計上の不具合が含まれている可能性があり、公表されている仕様とは異なる動作をする場合があります。現在確認済みのエラッタについては、インテルまでお問い合わせください。

インテルは、明示されているか否かにかかわらず、いかなる保証もいたしません。ここにいう保証には、商品適格性、特定目的への適合性、および非侵害性の黙示の保証、ならびに履行の過程、取引の過程、または取引での使用から生じるあらゆる保証を含みますが、これらに限定されるわけではありません。

---

## 製品とパフォーマンス情報

<sup>1</sup> 性能は、使用法、構成、およびその他の要因によって異なります。

詳細については、[www.intel.com/PerformanceIndex](http://www.intel.com/PerformanceIndex) (英語) を参照してください。